東京大学
THE UNIVERSITY OF TOKYO

Friends of UTokyo
東大友の会

2022
年度報告書

目次

ページ番号	
1	FUTI理事長からのご挨拶
2	東大友の会活動要約2007-2022
3-4	2022 FUTI 奨学金プログラムの報告
4-5	FUTI 国際リーダーシップ賞受賞者名簿、2022
5-7	中長期留学のための奨学金受賞者名簿、2022-2023
7	FUTI Alumni Association からの報告
8-9	2021-2022会計年度の募金結果
9-10	2021-2022会計年度財務諸表の要約
10	FUTI 講演シリーズ
11	2021-2022会計年度寄付者芳名録
12	FUTI 組織表

FUTI 理事長からのご挨拶

皆様に2022年の年次報告書を謹んでお届け致します。

東大友の会（FUTI）は 2007 年の設立以来、 米国と日 本の優秀な学生に素晴らしい留学の機会を奨学金の支給を通して提供して参りました。 これらの 奨学金は、科学、技術、芸術および人文科学の分野で次世代のグローバルリーダーとなる可能性を持つ優秀な 東大生および米国大学生の初期のキャリア推進にとても重要な機会を与えており、 確実に成果を挙げております。 しかしながら、2020 年 2 月か ら急速に広まった新コロナウイルス・パンデミックの為に日米の大学での夏季短期留学プログラムが中止になり、ズームによるバーチャル・プログラムに変更になったり、 米国大学院に入学しても実際にはキャンパスには行けず、講義もバーチャルで、日本で受講せざるを得ないと云った問題が多々起こりました。従って、FUTI の留学プログ ラムも当然多大な影響を受けましたが、FUTI ではこの危機的状況下に著しく普及したズームによるシンポジウム、セミナー、パネル討論会、ウェビナー、同窓会等を積極的に取り入れて活動を続ける事が出来ました。満三年に及ぶ パンデミックでしたが、米国 大学はすでに対面教育・研究に戻っており、短期夏季研修プロ グラムも再開されましたので、FUTI の活動も通常に戻れると期待しています。また、FUTI は改装再始動した東大 NY オフィスとの連携を推進しています。現在、我々の世界は数々の難問、例えば地球温暖化・気候変動による頻繁な天災、疫病の蔓延、民主主義を 脅かす独裁主義の台頭、 侵略戦争の勃発、 長期に亙る内戦、増加し続ける難民、加速する貧富の差の拡大等々、に直面しています。ですから、これらの難問に不撓不屈の精神で挑戦し解決して行く能力を持ち次世代を担う人々を育成する事が私達の世代にとって不可欠です。明日のグローバルリーダーを育成という FUTI の趣旨にご賛同していただいた皆様に心からお礼を申し上げるとともに、今後もより一層の御支援をお願い申し上げます。

東大友の会理事長　尾島　巌

奨学金、グラント実績

66

FUTI 中長期留学のための
奨学金

179

FUTI 国際リーダーシップ
奨学金

寄附実績

$775,728

個人・他からの
寄付金

$702,958

Shintech社

$45,809

東大ニューヨークオフィス

$1,126,400

米国伊藤財団

716
卒業生
からの
寄付

寄付金合計
$2,650,895

I. 概況

コロナ禍でも、 1学期以上の中長期留学はあまり打撃を受けなかったのに対して、 短期留学は大きな影響を受けました。 短期留学奨学金に充てて来た FUTI 奨学金は、 卒業生各位の個人的なご寄付と、 信越化学工業（株）の米国法人 Shintech 社のご寄付で支えられて来ましたが、 短期留学の資金需要の減少を踏まえて、 資金が不足気味の中長期留学の奨学金に一部転用しました。 2021 年度にもそれを企画しましたが充当者が留学できなかったために実現せず、 2022 年度が FUTI 奨学金の中長期留学への支援の初めての年となりました。

一方 2022 年度には、 東大 New York Office から初めてのご寄付を頂き、 1 名の奨学金に充当できました。 その実績を踏まえて、 このご寄付は 2023 年度以降本格的に拡大され、 2016 年以来の長い伝統がある米国伊藤財団—FUTI 奨学金と並んで、「周⊠圭・周滝沢愛子 奨学金」の名で運用されます。 周 ⊠圭氏は上海市出身で、 東京大学大学院で工学博士を取得された後に、 米国で半導体関連の企業を立て続けに設立し成功された連続起業家で、 エンジェル投資家です。 ご自分の資産は「社会から預かった金」と受け止められ、 より良い社会を実現するために、 人を育てる教育に投資したいとの想いから、 中国・日本・米国の教育機関に多額の寄付をしておられます。 氏と奥様が東大 New York Office に寄付された基金がこの奨学金の源資です。

ご寄付下さった方々に深謝申し上げると共に、 ご寄付を有効に活用して東大の更なる国際化と学生各位の育成に貢献できるよう、 FUTI としては決意を新たにしている次第です。

II. 中長期留学に対する奨学金

2022 年度には例年を上まわる 34 名の応募者があり、 11 名を採択しました。 応募者が多かった主因は、 東大在籍者の学内選考を経て米国の協定校に 1—2学期留学する協定校留学からの FUTI 応募者が 14 名と多かったことです。 コロナ禍の落ち着きを背景に活性化したのだと思われます。

この協定校留学は米国伊藤財団—FUTI 奨学金で支援したうちの一部です。 その多くは、 東大が斡旋する日本学生支援機構（JASSO）の奨学金との併給でしたが、 JASSO の月額 8 万円を上回る奨学金を第三者から受け取ってはいけないという JASSO の規則と、 支払時の極端な円安との関係で奨学金の目減りが生じました。 対策として JASSO は月額 2 万円を 2023 年度予算で追加支払いすることになりました。 FUTI としては、 円安前に奨学金を査定・決定した時の為替レートを、 支払い時期に関わらず変更しないことにしました。

FUTI奨学金では、GhanaとMalaysiaから東大に留学して来ている外国人学生が米国に留学するのを支援しました。また米国の大学院から専門分野の研究のために東大に留学する学生を支援しました。

その他に、 冒頭に言及した東大 New York Office の支援による 1 名の米国留学がありました。

2022 FUTI 奨学金プログラムの報告

III. 短期留学に対する奨学金

2022 年度にはオンライン受講の支援を止めました。 2020 年度 2021 年度では留学が決まった後にオンライン受講に切り替わったので、 金額は見直した上で海外渡航なしのオンライン受講も支援しました。 しかし 2022 年度は当初から対面実施・オンライン受講・中止の別がはっきりしていましたから、 管理が難しいオンライン受講の支援を止めた次第です。

東大の夏季プログラムのほとんどは、 オンライン受講または中止でした。 但し東大柏で開催の UTSIP だけは対面で催行され、 米国の大学からの参加者 1 名の支援を決めていましたが、 Hanoi 出身の当人の渡航は Visa が進まず参加できませんでした。 従って米国大学から東大への短期留学への支援は無くなりました。

米国各大学の夏季プログラムの多くは対面で開催されました。それに対して東大生 12 名が FUTI 奨学金を申請し、例年よりもやや高い比率の 5 名を支援しました。 受賞者は Harvard, Yale x 2, Johns Hopkins, Stanford で約 1 ヶ月のプログラムに参加しました。

FUTI 国際リーダーシップ賞受賞者名簿、2022

注 ： 所属、専攻及び学年は申請書類に記入された情報

アンナ・ブランチフィールド || Anna Blanchfield

ハーバード大学、学部3年
化学と物理生物学

東大 IRCN サマーインターンシッププログラム

ジョナス・ハンセン || Jonas Hansen

ハーバード大学、学部3年
物理工学とコンピューターサイエンス

東大 IRCN 知能システム情報学研究室での
リサーチインターンシップ

鐘ヶ江真理子 || Mariko Kanegae

東京大学
医学5年

ジョンズ・ホプキンズ大学医学部
Visiting Medical Student Elective

FUTI 国際リーダーシップ賞受賞者名簿、2022

注：所属、専攻及び学年は申請書類に記入された情報

杉山佳那 || Kana Sugiyama

東京大学、学部3年
総合社会科学、国際社会科学

ハーバード大学サマースクール

鷲見　直 || Nao Sumi

東京大学、学部3年
情報理工学

イェール大学

吉本遼平 || Ryohei Yoshimoto

東京大学、学部4年
教養学部身体運動・健康科学

Sleep and Circadian Neurobiology Laboratory,
Stanford Center for Sleep Sciences and Medicine Visiting Student Researchers

中長期留学のための奨学金受賞者名簿、2022-2023

注：所属、専攻及び学年は申請書類に記入された情報

別府正太郎 || Shotaro Beppu

東京大学、学部3年
システム創成学

Massachusetts Institute of Technology
Department of Economics, Master of Applied Science in Data, Economics, and Development Policy

畑岡愛佳 || Manaka Hataoka

ハーバード大学、修士1年
Graduate School of Design

ハーバード大学
Graduate School of Design, Department of Landscape Architecture（2年目）

小坂　涼 || Ryo Kosaka

東京大学、学部3年
経済学部経済経営

イリノイ大学Urbana-Champaign校、College of Liberal Arts & Sciences

リァオ・イ・ジャ || Yi Jia Liow

東京大学、修士2年
国際保健学、人類生態学

ハーバード大学
The Graduate School of Arts and Sciences, Human Evolutionary Biology

大森結衣 || Yui Omori

ノースカロライナ州立大学、修士2年
College of Design, Landscape Architecture and Environmental Planning

ノースカロライナ州立大学
College of Design, Landscape Architecture and Environmental Planning（2年目）

杉山詩歩 || Shiho Sugiyama

東京大学、学部2年
電気工学、コンピューター工学

プリンストン大学
電気工学、コンピューター工学

高島理沙子 || Risako Takashima

東京大学、2018卒
総合文化研究科地域文化研究

シカゴ大学、Harris School of Public Policy, Master of Public Policy

植村彬子 || Akiko Uemura

イェール大学、博士課程
Graduate School of Arts and Sciences, Department of Spanish and Portuguese

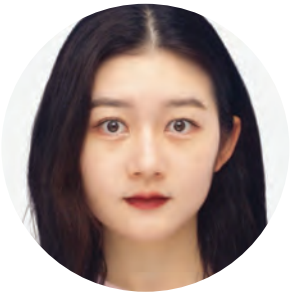
東京大学史料編纂所、Foreign Visiting Researcher

中長期留学のための奨学金受賞者名簿、2022-2023

浮島　シャファートゥ・アブバカル || Shafaat Abubakar Ukishima

東京大学、2021卒
総合文化研究科/ PEAK Japan in East Asia

ハーバード大学
Graduate School of Education/ Education Leadership, Organizations and Entrepreneurship



梅田莉名 || Rina Umeda

東京大学、学部2年
東京大学教養学部 前期課程 自然科学II（PEAK）

プリンストン大学、Civil and Environmental Engineering

萬屋杏菜 || Anna Yorozuya

東京大学、学部4年
法学部

イェール大学、Political Science

FUTI Alumni Association からの報告

FUTI Alumni Association（FAA）の初代会長を務めている、プリンストン大学博士課程所属の羽場優紀です。FAA は、2010 年以降 200 名近くを輩出してきた FUTI の奨学金の同窓生同士の年代や専門を超えた幅広い繋がりを構築する為 2019 年春に発足した FUTI 奨学生の同窓の会です。 昨年（2022 年 ）は COVID-19 のパンデミックから少しずつ回復する一年となりました。 その様な状況下で も、FUTI やさつき会アメリカと協働することで、いくつかのイベントを共催することができ、 本当に感謝しています。 例えば、 2021 年 10 月 9 日に行われた『AI 時代の大学と社会—アメリカでの学長経験から』、 2022 年 1 月 22 日に行われた『グローバル時代の留学、 海外派遣 ： 海外で充実したキャリアとファミリーライフを両立させる為には？』、と 2022 年 4 月 22 日に行われた『バイデン政権の「制約」と日米協力』 などです。 また、 引き続き多くの FAA メンバーと有用な情報を常にメーリングリストで共有する事により、発足したばかりの FAA の基盤を作り上げてきました。 年末には過去の FUTI 奨学二人 （医師、 東大大学院生） と FUTI の諮問委員会にて「どのようにしてコミュニティの多様性に個人として・FUTI として貢献していくべきか」 報告させていただきました。FAA と現役奨学生との繋がり、 また FUTI の理事の皆様とのつながりは、援助して頂いた奨学金の何倍、 何十倍も価値あることだと強調させていただきました。 残念ながら 2022 年も対面でのイベントとは開催できませんでしたが、 今年こそは対面での会合を企画し、 グローバルに活躍する FAA メンバー間の繋がりを更に育てていきたいと考えています。

2021-2022会計年度の募金結果

2021/22 年度（2021 年 7 月1日から 2022 年 6 月 30 日まで）は、総額約 27 万ドルの御寄付を頂きました。ちなみに過去の寄付総額は、2012/13 年度から 2020/21 年度まで、約 13 万 1 千ドル、11 万ドル、11 万 6 千ドル、31 万 6 千ドル、19 万 9 千ドル、31 万 3 千ドル、29 万 6 千ドル、20 万ドル、３5万ドルと推移しました。2015/16 年度から寄付総額が急増したのは、同年度から開始された米国伊藤財団からの毎年 20 万ドルを上限とする御寄付によります。

近年はコロナ禍で、留学および国際学術交流が一時低調となりましたが、今年度は留学規模も回復し始めました。昨年度まで毎年平均２0万ドルをいただいていた米国伊藤財団からの御寄付は、財団の方針で今後は毎年 10 万ドルの上限となりました。この御寄付は、米国に中長期（一学期以上）留学する東大の現学生および卒業生を支援する奨学金「米国伊藤財団—FUTI 奨学金」として支給されます。次に大きな御寄付はシンテック社からのトラスト分配で 5 万 9 千ドル、主に夏季の短期留学の支援に使われています。シンテック社には長年にわたり継続的な御寄付をいただいています。

個人寄付者（general public）の数は、毎年 60-70 人で推移してきていましたが、コロナ禍で人々の交流が絶たれ、2020/21 年度は約 40 名で減少傾向でした。現サポーターが寄付額を増やしてくださった御蔭で、個人寄付総額は約 6 万 1 千ドルと例年の寄付額をなんとか保持することができました。個人寄付の重要性をご理解くださったサポーターの皆様へ感謝申し上げます。コロナ禍が落ち着いてきた今、新たなサポーターの開拓が重要になりました。

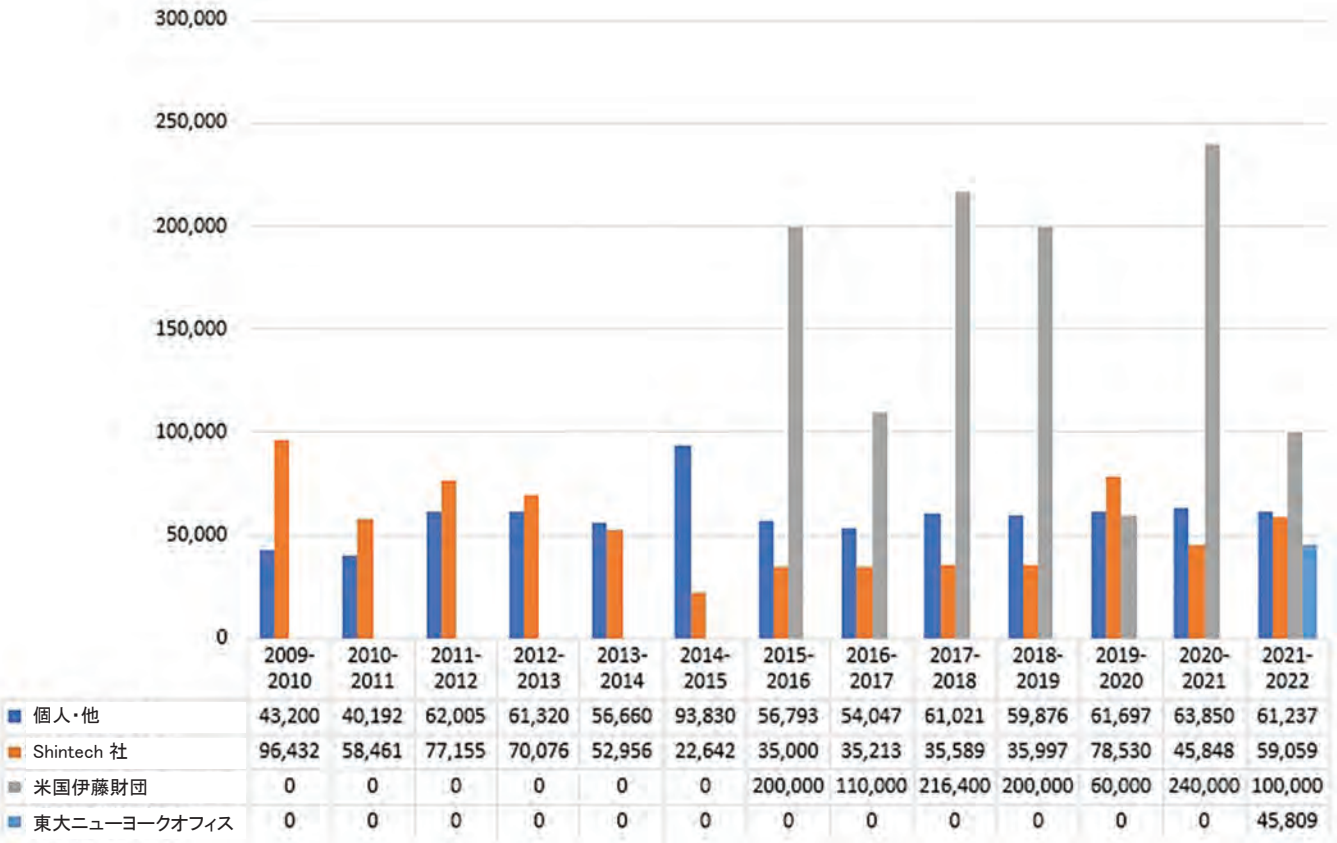
今年度、特記すべき収入として、東京大学ニューヨークオフィスからの御寄付が始まったことをご報告いたします。周 順圭・周滝沢愛子のご夫妻が東京大学ニューヨークオフィスに寄付された基金を源資とする奨学金です。次年度からは年間１0万ドル近い規模の奨学金が始まる予定です。周 順圭氏は上海市出身で、東京大学大学院で工学博士を取得された後に、米国で半導体関連の企業を立て続けに設立し成功された連続起業家です。

米国伊藤財団、シンテック社、さらに東京大学ニューヨークオフィスには、FUTI のミッションに対する寛大な御支援をいただき、心から感謝いたします。また、これら大口の御寄付を今後も継続いただき、かつ現在レベルの活動を続ける条件として、個人の寄付者から十分な寄付を集めることが重要です。御寄付いただいたお一人お一人に感謝すると共に、今後も個人の皆様からの御支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

過去 FUTI は大きな進歩を遂げ、各種プログラムを育ててきました。スカラシップと研究グラントプログラムが発展し、受賞者が学業に励み努力する姿をみて喜ばしく思います。受賞者の中には留学の成果として、立派な賞を獲得される方々も出てきております。多くの著名な大学、特に先進国を代表する他大学との競争がますます激しくなっているグローバル・コミュニティにおいて、東京大学のプレゼンスを高めていくことは卒業生の喜びでもあります。非常に優れた多くの学生たちをグローバル・コミュニティに送ることをサポートしてくださる皆様に FUTI より深く感謝申し上げます。

2021-2022会計年度の募金結果

東大友の会への寄付：2009-2022（単位：USドル）



2021-2022会計年度財務諸表の要約

（2022年6月30日期）

貸借対照表（単位：USドル）

資産	
流動資産	
当座預金、普通預金	657,679
未収寄付金	24,393
固定資産	0
資産合計	682,072

負債	
流動負債	
グラント（奨学金、研究助成金）未払い分	204,784
未払費用	6,081
固定負債	0
負債合計	210,865
正味財産	
一般正味財産	419,222
制約的正味財産	51,985
正味財産合計	471,207
負債・正味財産合計	682,072

活動計算書（単位：USドル）

経常収益		経常費用	
寄付金	266,106	グラント（奨学金、研究助成金）	216,284
受取利息	30	業務費用	23,186
経常収益合計	266,136	経常費用合計	239,470
当期正味財産増額	26,666		
前年度末正味財産合計	444,541		
2021-22会計年度末正味財産合計	471,207		

FUTI 講演シリーズ

FUTI 講演シリーズでは、 米国を訪問された東大教授や著名な卒業生に講師になって頂き、 東大卒業生などにとって関心の深い問題を議論、検討する場を提供しています。 イベントは通常オンラインまたは、ミッドマンハッタンの会場で開催されます。

講演テーマ	講師	日時
AI時代の大学と社会ー アメリカでの学長経験から	古井貞熙、Toyota Technological Institute at Chicago 理事長	2021年10月9日
グローバル時代の留学、海外派遣： 海外で充実したキャリアと ファミリーライフを両立させる為には？	細田満和子氏（星槎大学大学教授）その他	2022年1月22日
バイデン政権の「制約」と日米協力	河本　雄、在米国日本国大使館公使	2022年4月22日

さつき会アメリカ、 シカゴ赤門会、 ニューヨーク銀杏会、 FUTI Alumni Association などの東大同窓会に共催、後援などの形でご支援をいただきました。

＊所属はイベント時の情報

2021-2022会計年度寄付者芳名録

東大友の会の活動に対する温かい御支援と多額の寄付を賜りましたそのご厚志に深く感謝申し上げます。皆様のお陰で米国、日本、及び世界での東京大学の将来の持続的発展、共同プロジェクトや意見交換に協力すべく経済的支援や機会を提供することができます。

2021-2022年会計年度総計：$266,105

Benefactor
($15,000 or more)

米国伊藤財団
$100,000

Shintech 社
$59,059*

東大ニューヨークオフィス
$45,809†

Donor
($1,000-$14,999)

尾島 巌
$6,000

小林 久志、正江
$5,000

松下 重悳、スミヱ
$5,000

Krishen & Geeta Mehta
$5,000

山田 雅章
$5,000

桜井 本篤、信子
$3,500

桑間 雄一郎、千佳
$3,000

武神 淳之
$3,000

岡本 康夫
$2,500

大迫 政子
$2,500

伊喜利 佳業
$2,000

小林 久志
小林昭七記念寄付
$2,000

楠原 千秋
$1,100

匿名
$1,000

浅見 徹
$1,000

浜田 宏一、Carolyn Beaudin
$1,000

杉山 健一
$1,000

董 克勇
$1,000

若生 信弥
$1,000

Supporting Member
($500-$999)

匿名
$600

古井 貞熙
$500

河本　雄
$500

吉田 洋一
$500

Friends
($250 - $499)

後藤 美波
$368

安藤 直也
$300

匿名
$300

Erika White
$250

小野 雅之
$250

Donations under $250

三道弘明
$200

匿名
$200

匿名
$150

濵田 穣太郎
$120

金澤 亮子
$100

小林 幸子
$100

名前のみの方々
(五十音順)

藤崎 哲之助

市瀬　史

伊藤 隆敏

森 繁

谷川 洋介

＊ 5百万ドルの信託基金からの今年度配当分
† 周順圭・周滝沢愛子奨学金のため

FUTI 組織表

理事メンバー

尾島　巌
理事長・CEO
University Distinguished Professor, Stony Brook University – State University of New York

桑間雄一郎
副理事長・財務担当理事・CFO
Mount Sinai Beth Israel、東京海上記念診療所院長

武神淳之
副理事長・業務担当理事・COO
タイガーパシフィックキャピタル、アドバイザー

伊藤隆敏
大学担当理事
コロンビア大学国際関係・公共政策大学院 教授；コロンビア大学ビジネススクール 日本経済経営研究所；公的年金・政府系ファンド研究プログラムディレクター、研究副部長

大迫政子
広報担当理事
Executive Director, International Longevity Center (ILC) Global Alliance, さつき会アメリカ幹事

小出昌平
大学担当理事
New York University School of Medicine, Professor of Biochemistry and Molecular Pharmacology; Perlmutter Cancer Center at NYU Langone Health, Director of Cancer Biologics

桜井信子
FUTI Alumni Association 担当理事
Lotus Circle Asia Foundation、アドバイザー

松下重悳
奨学金プログラム担当理事
Japan Wink Communications、元社長、Member of the Japanese Computer Pioneers

ギータ・メータ
国際同窓生プログラム担当理事
Adjunct Professor of Urban Design, Columbia University; Founder and President, Asia Initiatives

津田敦
東京大学理事・副学長

伊喜利佳業
法務担当オフィサー
Vice President & Assistant General Counsel, JPMorgan Chase Bank, N.A.

藤崎哲之助
会計
President, Ringo Software Technology, Inc.

山田雅章
名誉理事長（non-voting）
プリンストン・プラズマ物理研究所、栄誉研究員

小林久志
名誉理事長（non-voting）
プリンストン大学名誉教授、元工学部長

桝田淳二
名誉理事長（non-voting）
ニューヨーク銀杏会名誉会長

小宮山宏
名誉理事（non-voting）
三菱総合研究所（株）理事長、東京大学第28代総長

諮問委員会メンバー

山田雅章
委員長

伊喜利佳業

岡本康夫
Hughes, Hubard＆Reed LLP, Senior Counselor

小出 明子
Research Assistant Professor, New York University School of Medicine, Perlmutter Cancer Center at NYU Langone Health; さつき会アメリカ、会長

小林久志

河本　雄
在米国日本国大使館　公使

鈴木由利子
Principal, Y SUZUKI CONSULTING LLC

董　克勇
ハーバード・ロー・スクール　講師、ニューヨーク銀杏会副会長

藤崎哲之助

浜田宏一
イェール大学名誉教授、東京大学名誉教授

エリカ・ホワイト
Attorney, Davis and Polk & Wardwell LLP

佐藤公一
職権上の諮問委員
サンフランシスコ赤門会、会長

長谷川泰
職権上の諮問委員
スタンフォード・シリコンバレー赤門会会長；プレシデント、Henry Taube Institute

松井 多賀子
職権上の諮問委員
Floral Designer; Representative Director, Satsuki-kai America

山口勝之
職権上の諮問委員
ニューヨーク銀杏会、会長；弁護士、西村あさひ法律事務所ニューヨーク事務所

Scholarship委員会

松下重悳
委員長

桜井信子
副委員長

大迫政子

尾島　巌

小出昌平

武神淳之

山田雅章

2022年9月24日現在